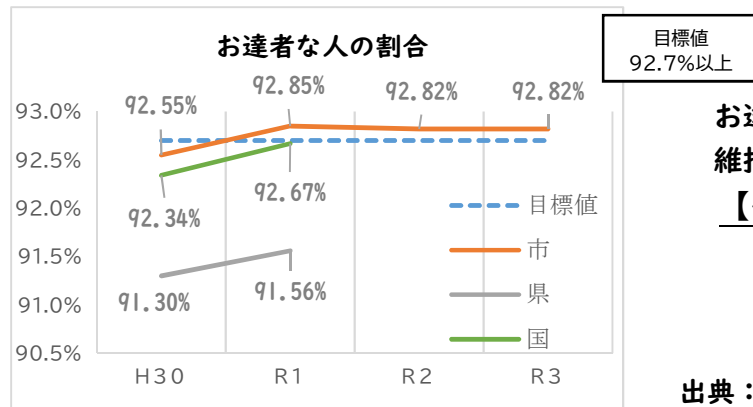


健幸いわた 2 | 指標の経年変化と令和4年度の取り組み

【達成度：◎目標達成、○中間評価(H28)より改善、▲中間評価より悪化】

重点課題1 健康寿命の延伸

●お達者な人の割合の増加(75歳~84歳の介護認定なし+要介護1以下/75歳~84歳の人口)

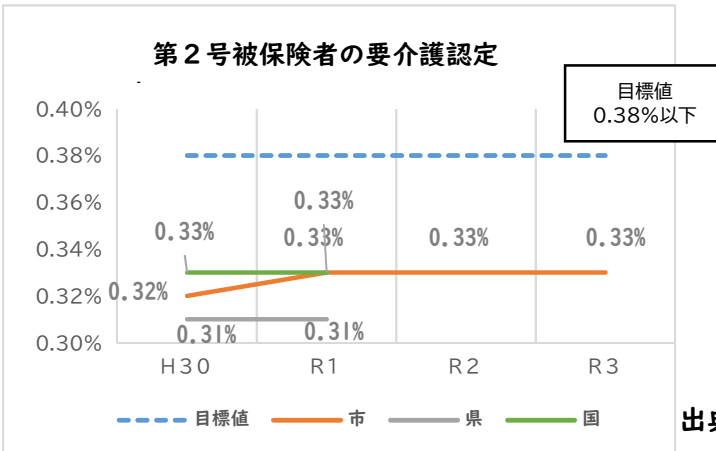


お達者な人の割合は、目標を超えて維持できている。

【令和3年度達成度：◎】

出典：介護保険事業状況調査報告

●第2号被保険者の要介護認定率の増加の抑制(40~64歳の認定者数/40~64歳の人口)

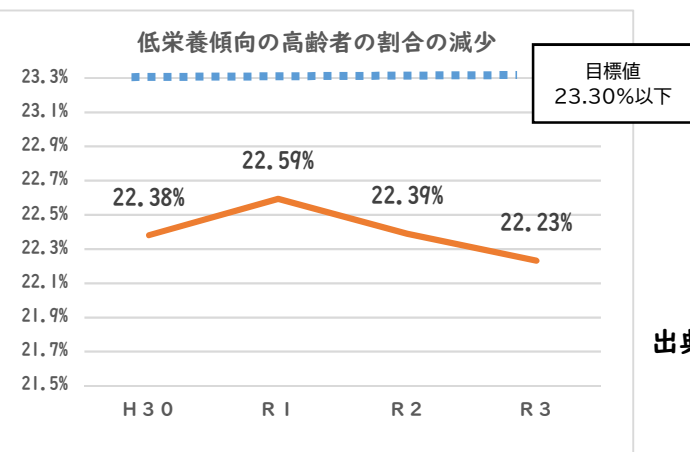


目標値を下回り、要介護認定率の増加を抑制できている。

【令和3年度達成度：◎】

出典：介護保険事業状況調査報告

●低栄養傾向の高齢者の割合の減少(BMI 20以下の割合(65歳以上))



低栄養の高齢者の割合は減少している。

【令和3年度達成度：◎】

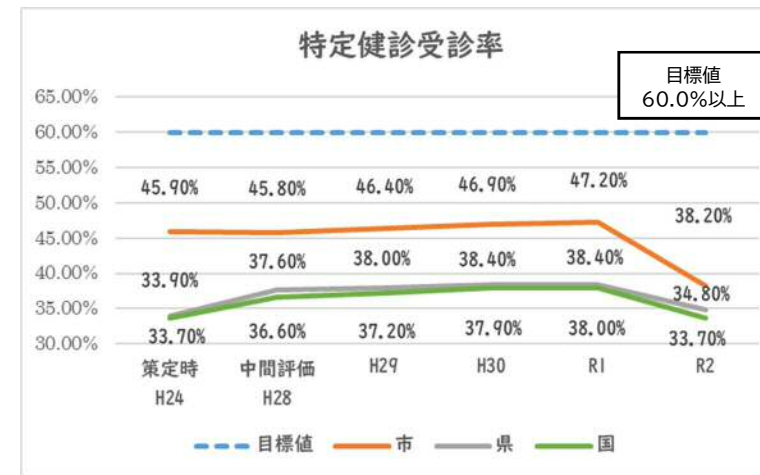
出典：国民健康保険特定健診結果・後期高齢者健診結果

〈令和4年度の取り組み〉

- ・いきいき百歳体操実施団体や高齢者サロン、シニアクラブ等、高齢者の活動の場となる団体に対し、フレイル予防の普及啓発を行う。
- ・出張まちの保健室などで参加者にあった健康情報を提供することで、健康課題の共有と情報提供を行う。
- ・専門職(栄養士・歯科衛生士)によるフレイル・生活習慣病予防の個別相談を実施。

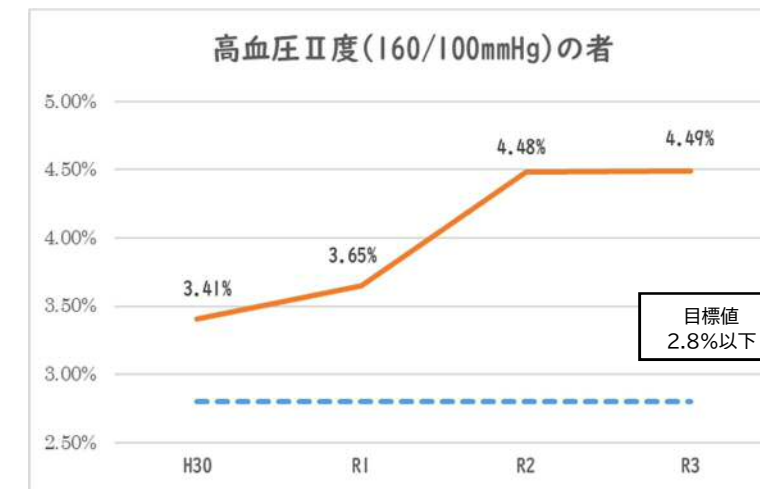
重点課題2 生活習慣病の重症化予防

●特定健診受診率の増加

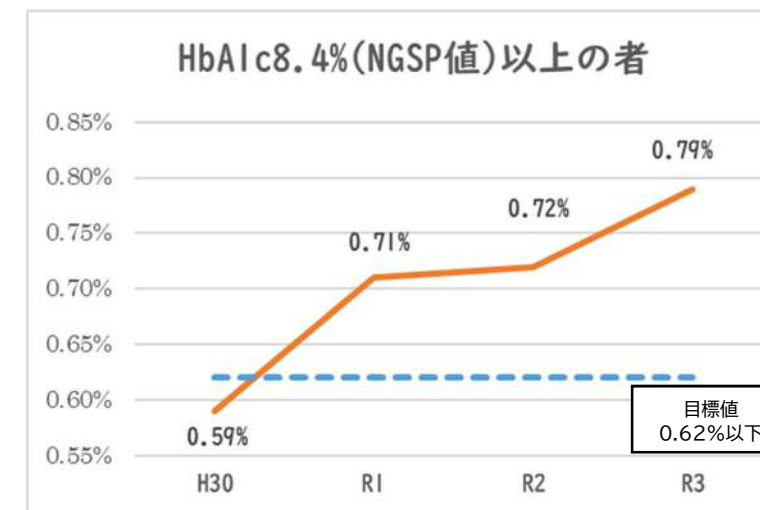


令和3年度の法定報告は11月に公表されるため、第2回協議会で報告します。

●高血圧Ⅱ度(160/180mmHg)の者の割合の減少



●HbA1c8.4%(NGSP値)以上の者の割合の減少



〈令和4年度の取り組み〉

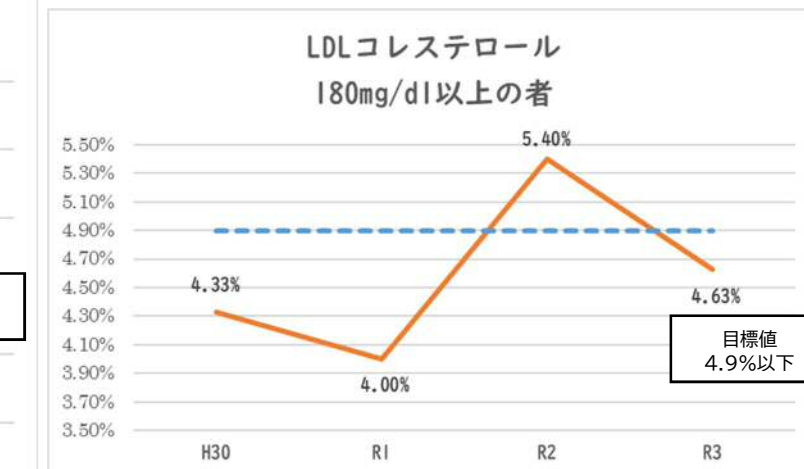
- ・疾病予防、早期発見、早期治療のため、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、安心して健診が受けられる体制を維持工夫していく。
- ・個人への保健指導は医療未受診者や中断者に対し、受診勧奨を引き続き行っていく。
- ・WEB版まちの保健室にて、生活習慣病予防の啓発を実施する。

●メタボ該当者及び予備軍の減少



●LDLコレステロール

180mg/dl以上の者の割合の減少



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診率の低下が顕著。健診結果も、影響を考慮し経年でみていく必要がある。高血圧は中間評価の3.10%より悪化、LDLは中間評価は5%であり目標値の4.90%よりも減少し目標達成、HbA1cは中間評価の0.64%より悪化している。

高血圧：【令和3年度達成度：▲】

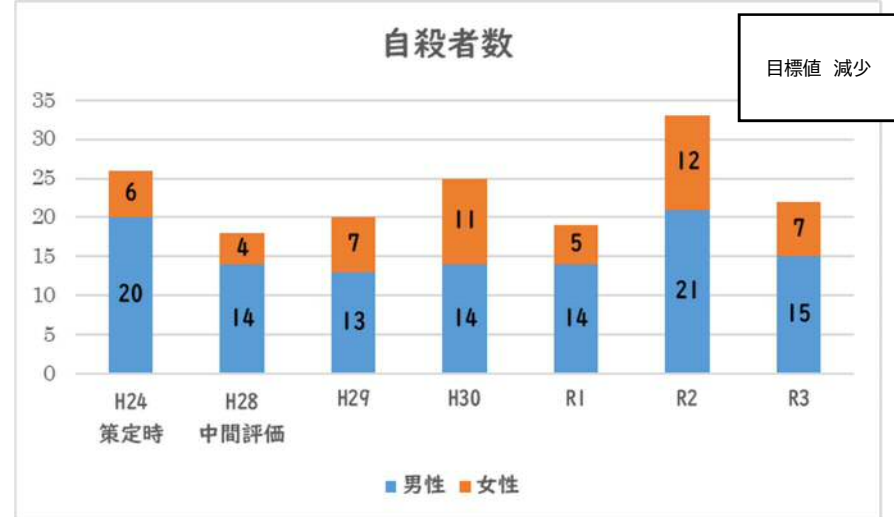
LDL：【令和3年度達成度：◎】

HbA1c：【令和3年度達成度：▲】

出典：磐田市国保特定健診結果

重点課題3 こころの健康～自殺対策計画～

●自殺者数の減少

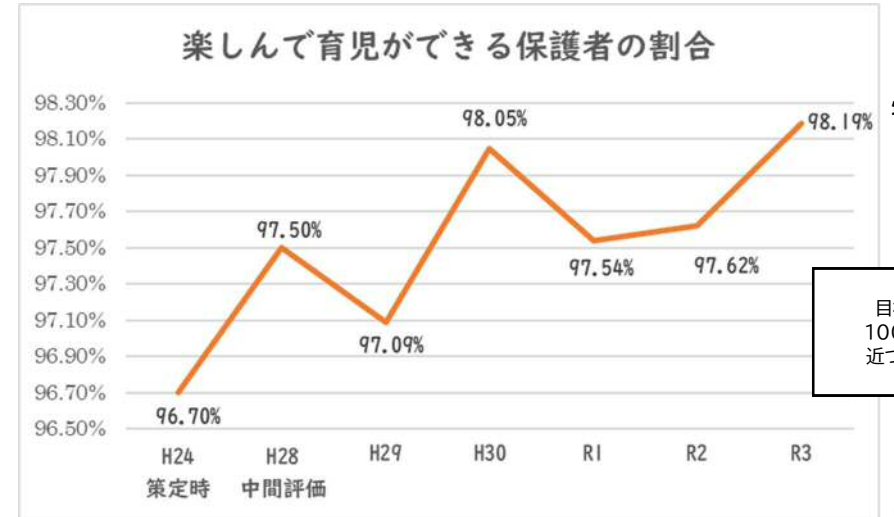


自殺者数は、令和2年度に比べ減少はしている。令和2年度が突出して多かったため、令和元年度と比較すると横ばいである。

【令和3年度達成度：▲】

出典：静岡県人口動態統計

●楽しんで育児ができる保護者の割合の増加



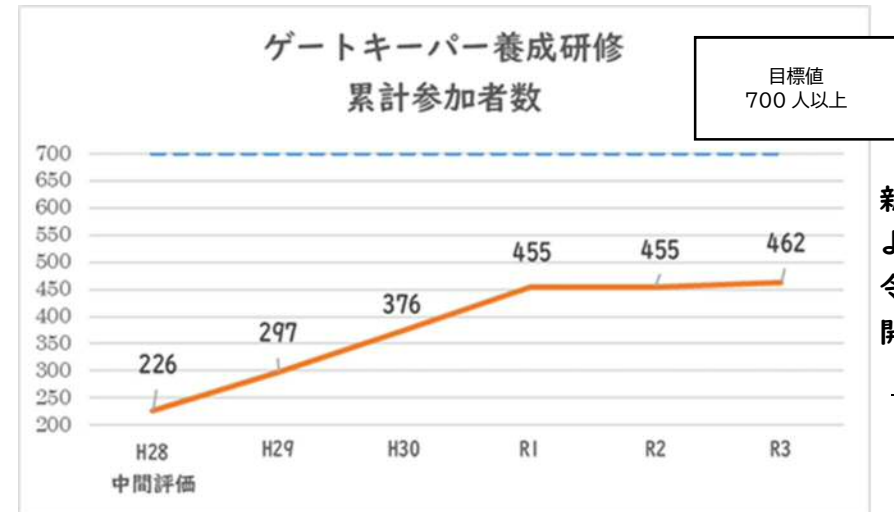
楽しんで育児ができる保護者の割合は、令和元年度から年々増加している。

【令和3年度達成度：○】

目標値
100%に
近づける

出典：3歳児健診アンケート

●ゲートキーパー養成研修累計参加者数の増加



新型コロナウイルス感染症により、令和2年度の開催は中止、令和3年度は規模を縮小し一部開催した。

【令和3年度達成度：○】

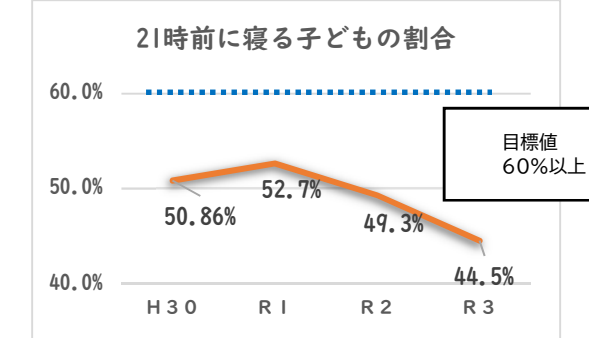
出典：市事業参加者調べ

〈令和4年度の取り組み〉

- ・感染状況により、開催方法を工夫しながら、ゲートキーパー養成研修の対象者を拡大していく。
- ・悩みを抱えたときの相談先の周知と気づきへのアプローチにつながるよう、幅広い世代に向け資料等を活用して啓発を行う。
- ・出張まちの保健室を子育て支援センター等でも開催し、保護者の健康維持と育児不安の軽減を図っていく。

重点課題4 生活習慣の改善 ～こどもからおとなまで～

●21時前に寝る子どもの割合の増加

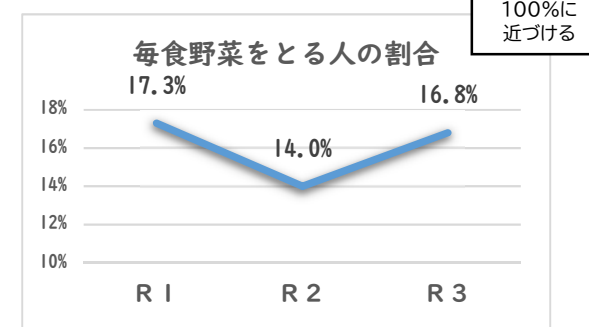


21時前に寝る子ども割合は年々少なくなっており、中間評価の54.70%より悪化している。

【令和3年度達成度：▲】

出典：3歳児健診アンケート

●毎食野菜を採る人の割合

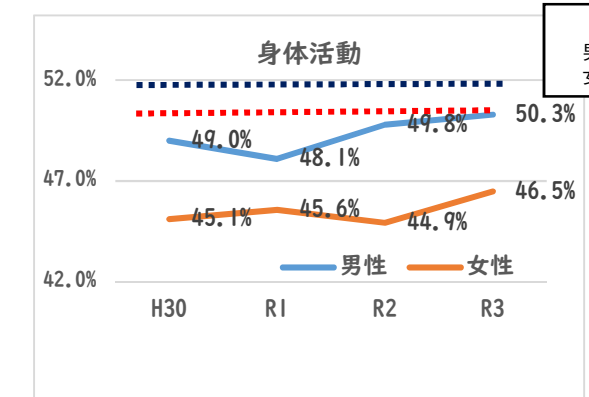


令和2年度に比べるとやや増加しているが、中間評価の25.70%より悪化している。

【令和3年度達成度：▲】

出典：高校2年生 食育講座調べ

●日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施しているものの割合



男女ともに割合は増加しているが、男性は中間評価の48.30%より改善、女性は中間評価の48%より悪化している。

男性【令和3年度達成度：○】

女性【令和3年度達成度：▲】

出典：国民健康保険特定健診結果

〈令和4年度の取り組み〉

- ・公立幼稚園、こども園、保育園において給食時のあいさつを「いただきます お箸をもったら野菜から」を全国統一し、幼児期からベジファーストの定着を目指す。
- ・企業やスーパーなどの店舗へ、ベジファーストの普及を行う。
- ・広報やホームページを通して、ベジファースト・食育啓発を引き続き実施する。
- ・たのしっぺい♪健幸チャレンジでは、より多くの市民が参加できるように市の公式LINEを利用し、スマートフォンで参加できるようにする。
- ・健康無関心層へのアプローチとして、健幸チャレンジ達成者が参加できる抽選を実施する。
- ・まちの保健室で健康器具の測定を継続し、気づきと生活習慣改善のきっかけづくりとなる機会を作っていく。
- ・いわたっ子健康マイスター事業では生活リズム等健康課題に沿った健康教育を実施し、子どもたちが自身の生活や健康な体作りについて見直すきっかけづくりを行う。